

## 4 . アンケート調査票



## 卒業生用

## 応用課程の教育訓練に関する調査

職業能力開発総合大学校能力開発研究センター

この調査は、平成14年度までに応用課程を卒業された皆様に対し、アンケート調査票をお送りさせていただいております。

平成11年度、これまでの実践技術者養成として位置付けられた“専門課程”に加え、より専門的かつ応用的技術ならびに創造的能力、問題解決能力等を有する生産現場のリーダー養成の“応用課程”が発足し5年が経過しました。応用課程の教育システムとして、課題学習方式、実学融合教育訓練、ワーキンググループ学習方式は効果的であったのか。また、将来の生産現場のリーダーとしての役割を担い、社会に出てどのように活躍しているのか。どのような評価を受けているのか。を調査研究することにより、今後の応用課程の教育システムに反映させたいと思っております。

大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます

## ご記入の前に

- ・回答は、番号に を付けるか、 の中にご記入下さい。
- ・「その他」を選んだ場合には、具体的な内容を( )の中にご記入ください。
- ・本調査は無記名調査です。いただいた回答は統計処理いたしますので、結果をそのまま外部や所属事業所に公表することはありません。ご自分の率直なご意見をご記入ください。
- ・ご回答いただいたアンケートは、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れ、**アンケートがお手元に届いてから2週間をめぐりご返送ください。**
- ・本調査についてのお問い合わせは、すべて下記あてにお願いいたします。

雇用・能力開発機構 職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター  
開発研究部 高度訓練研究室

メール xxxxxx@uitec.ac.jp

T E L 042 - 763 - 9246 / F A X 042 - 763 - 9263

〒229-1196 神奈川県相模原市橋本台4 - 1 - 1

## 応用課程の教育についてお伺いいたします。

Q1：応用課程の教育全般について、満足しましたか。(あてはまるもの1つに 印)

1. 十分満足できた SQ 1-1 へ
2. ある程度満足できた SQ 1-1 へ
3. どちらともいえない(ふつう)
4. あまり満足できなかった SQ 1-2 へ
5. 全く満足できなかった SQ 1-2 へ

SQ 1-1：Q1で、「1.」「2.」「満足できた」と回答された方へお伺いいたします。

満足した点は、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに 印)

1. さらに深く専門知識、技能、技術を習得することができた
2. 幅広い知識、技能、技術を習得することができた
3. 体系的な技能・技術の習得ができた
4. 実践的な技能・技術の習得ができた
5. 目的、目標に対する達成感を得ることができた
6. 就職に有利であった、役立った
7. その他( )

SQ 1-2：Q1で、「4.」「5.」「満足できなかった」と回答された方へお伺いいたします。

満足できなかった点は、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに 印)

1. さらに深く専門知識、技能、技術を習得することができなかった
2. 幅広い知識、技能、技術を習得することができなかった
3. 技能・技術を体系的に学ぶことができなかった
4. 実践的な技能・技術の習得ができなかった
5. 目的、目標に対する達成感を得ることができなかった
6. 就職に役立たなかった
7. その他( )

Q2：具体的なものづくり課題を設定して学習する“課題学習方式”は、いかがでしたか。

(あてはまるものすべてに 印)

1. 考える力がついた
2. 自主性が養われた
3. 企画・開発・創造力がついた
4. 問題発見・課題解決力がついた
5. 実践的技術の習得ができた
6. 目的・目標がはっきりしているので取組みやすかった
7. 学習の進め方がわからなかった
8. 結果評価だけにとらわれがであった
9. 何をどの程度習得できたのか良くわからなかった
10. その他( )

Q3：学科と実験・実習を並行して行なう“実学融合教育訓練”は、いかがでしたか。

(あてはまるものすべてに 印)

- 1．実習を通じて理論を理解することができるので有効であった
- 2．知識・技能・技術の習得に効果的であった
- 3．理論を検証する実験が実習を行なうのに有効であった
- 4．複合的な技能・技術の習得と周辺知識が養えた
- 5．実習に偏り理論的学習が不足した
- 6．学科と実習を分離した方が理解しやすい
- 7．その他( )

Q4：グループで共通の課題に取り組む“ワーキンググループ学習”は、いかがでしたか。

(あてはまるものすべてに 印)

- 1．リーダーシップが養われた
- 2．責任感が養われた
- 3．協調性が養われた
- 4．コミュニケーションが養われた
- 5．相互に教えあうことで能力が向上できた
- 6．人間関係が難しく学習に支障きたした
- 7．自分のペースで学習できなかった
- 8．他グループとの競争が働き学習に意欲をもてた
- 9．やる人やらない人の差が大きい
- 10．その他( )

Q5：応用課程のカリキュラムについて、今後、改善すべき点はどのような点だと思われますか。(あてはまるものすべてに 印)

- |   |                  |
|---|------------------|
| 1．語学をもっと充実させる                                 | 2．専門学科をもっと充実させる  |
| 3．実践技術をもっと取り入れる                               | 4．応用技術をもっと取り入れる  |
| 5．先端技術を取り入れる                                  | 6．環境に関する教育を取り入れる |
| 7．職業キャリアに関する教育を取り入れる                          | 8．インターンシップを取り入れる |
| 9．資格取得の学習を取り入れる。                              |                  |
| 10．その他：具体的なカリキュラム(教科目)がありましたら、ご記入ください。<br>( ) |                  |

Q6：応用課程の施設設備について、今後、改善すべき点はどのような点だと思われますか。(あてはまるものすべてに 印)

- |  |                 |
|--|-----------------|
| 1．機器が不足しているので補充する                        | 2．機器が古いので、更新する  |
| 3．先端機器の導入が必要である                          | 4．教室・実習場が不足している |
| 5．専門図書の整備が必要である                          | 6．福利厚生設備が不足している |
| 7．その他：具体的に必要機器・設備がありましたら、ご記入ください。<br>( ) |                 |



Q10：就職について、いかがでしたか。(あてはまるものすべてに 印)

1. 就職相談は、丁寧に対応してくれた
2. 就職相談は、あまり対応してくれなかった
3. 就職情報は、十分であった
4. 就職情報は、不十分であった
5. 就職活動は、十分行えた
6. 就職活動は、あまり行えなかった
7. その他( )

### 現在の就業状況についてお伺いいたします。

Q11：現在、働いていますか。(あてはまるもの1つに 印)

1. 働いている Q12へ
  2. 働いていない Q19へ(7項)
- \*長期のパート・アルバイト、臨時は働いているとする

Q12：現在の仕事についてお伺いします。

SQ12-1：あなたのお勤め先の業種(自営の業種)は、(最も近いもの1つに 印)

1. 建設業(建築・土木・設備など)
2. 製造業(機械・電気・電子・金属製品・化学製品・木工製品・その他製造業など)
3. 情報通信業(ソフトウェア・情報処理・インターネット関連・通信・放送・広告・出版・新聞など)
4. 専門サービス業(機械設計・建築土木設計・デザイン・メンテナンス、コンサルタントなど)
5. サービス業(卸売・小売・金融・証券・保険・運輸・電気・ガス・水道・飲食店・不動産・医療・福祉など)
6. その他( )

SQ12-2：あなたのお勤めの事業所の従業員数(常用雇用者数)は、(あてはまるもの1つに 印)

\*事業所とは、本社、支社、支店、工場などの1つの場所でのかたまりを指します。

1. 29人以下
2. 30～99人
3. 100～299人
4. 300～999人
5. 1000人以上

SQ12-3：あなたの所属部署(職種)は、(最も近いもの1つに 印)

1. 人事、総務、経理
2. 企画、調査、営業、販売
3. 研究、開発、設計
4. 生産管理、品質管理・検査、保守
5. 製造・生産現場、工事現場
6. その他( )

SQ12-4：勤続年数は、(数字を記入して下さい)

年	ヶ月
---	----



Q18：あなたは、これからの職業キャリアについて、どのようにお考えですか。

(あてはまるもの1つに 印)

- 1．現在の業務に関連する分野をより深く経験していきたい。
- 2．現在の業務に関連する分野をより幅広く経験していきたい。
- 3．現在の業務と違う分野を経験していきたい。
- 4．今後のことはあまり考えていない。
- 5．その他( )

Q19：Q11で、「2.」“働いていない”とお答えの方へお伺いします。

現在は、どうされていますか。(あてはまるもの1つに 印)

- 1．仕事を探している
- 2．在学中
- 3．家事をしている
- 4．その他( )

Q20：応用課程卒業後において、退職経験がありますか。(あてはまるもの1つに 印)

- 1．ある  回 (回数をご記入ください)
- 2．ない

SQ20-1：Q19で退職経験が「1.」“ある”とお答えの方へお伺いします。

応用課程卒業後の初めての就職先には、何年勤務していましたか。

年  ヶ月 (数字を記入して下さい)

SQ20-2：最初に就職した会社を辞めた理由は何ですか。(あてはまるもの1つに 印)

- 1．リストラ、会社倒産など
- 2．仕事が合わなかった
- 3．Iターン、Uターンなど地元に戻りたかった
- 4．人間関係による
- 5．その他( )

### あなたご自身についてお伺いいたします。

F1：卒業科名は、(あてはまるもの1つに 印)

- 1．生産機械システム技術科
- 2．生産電子システム技術科
- 3．生産情報システム技術科
- 4．建築施工システム技術科

F2：卒業年は、(あてはまるもの1つに 印)

- 1．平成13年3月
- 2．平成14年3月
- 3．平成15年3月

F3：性別は、(あてはまるもの1つに 印)

- 1．男
- 2．女

F4：年齢は、(数字を記入して下さい)

F5：応用課程入学前に、社会経験(就職したこと)はありますか。(あてはまるもの1つに 印)

- 1．ある
- 2．ない

Q21：最後に、応用課程について、ご意見・ご要望をお伺いいたします。

応用課程に関するご意見・ご要望

後輩へのアドバイス

大学校に対するご意見・ご要望

その他ご意見・ご要望

調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました

上司の方用

## 応用課程の教育訓練に関する調査

職業能力開発総合大学校能力開発研究センター

この調査は、雇用・能力開発機構 職業能力開発総合大学校 能力開発研究センターの調査研究事業として実施するもので、平成12年度から平成14年度に各職業能力開発大学校の応用課程を卒業生し、就職した企業先の上司の方に、卒業生を通じてアンケート調査票をお送りさせていただいております。

平成11年度、これまでの実践技術者養成として位置付けられた“専門課程”に加え、より専門的かつ応用的技術ならびに創造的能力、問題解決能力、管理能力等を有する生産現場のリーダー養成の“応用課程”が発足し5年が経過しました。将来の生産現場のリーダーとしての役割を担い、社会に出てどのように活躍しているのか。どのような評価を受けているのか。また、応用課程の教育システムの効果をどのように評価されているかを調査研究することにより、今後の応用課程の教育システムに反映させたいと思っております。  
(別添資料：応用課程の教育訓練システム)

つきましては、大変お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

また、複数の卒業生をご担当の上司の方におかれましては、お手数かとは思いますがそれぞれにご回答のほどよろしくお願いいたします。

### ご記入の前に

- ・回答は、番号に を付けるか、 の中にご記入下さい。
- ・「その他」を選んだ場合には、具体的な内容を( )の中にご記入ください。
- ・本調査は無記名調査です。いただいた回答は統計処理いたしますので、結果をそのまま外部や所属事業所に公表することはありません。ご自分の率直なご意見をご記入ください。
- ・ご回答いただいたアンケートは、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れ、**アンケートがお手元に届いてから2週間をめぐりご返送ください。**
- ・本調査についてのお問い合わせは、すべて下記あてにお願いいたします。

雇用・能力開発機構 職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター  
開発研究部 高度訓練研究室

メール xxxxxx@uitec.ac.jp

TEL 042 - 763 - 9246 / FAX 042 - 763 - 9263

〒229-1196 神奈川県相模原市橋本台4 - 1 - 1



Q4：卒業生は、職場の同年齢の方と比べて、仕事の習得は速いと思われませんか。

(あてはまるもの1つに 印)

1. 早い      2. 遅い      3. わからない      4. 比べる人がいない

Q5：卒業生に、はじめて仕事を任せたのは、入社してからどれくらいたった時ですか。

(あてはまるもの1つに 印)

1. 3ヶ月      2. 6ヶ月      3. 12ヶ月      4. 1年6ヶ月  
5. 2年以上      6. まだ任せた仕事をさせていない

Q6：卒業生が、現在担当している仕事について、一人前になるためには、何年ぐらいかかりますか。(あてはまるもの1つに 印)

1. 1年      2. 2年      3. 3年      4. 5年      5. 5年以上

### 応用課程の教育についてお伺いいたします。

Q7：応用課程では、専門的能力の習得とともに、創造力、企画開発力、判断力等を養う、課題学習方式、実学融合教育訓練、ワーキンググループ学習方式の教育システムを実施しております。

(別添資料をご参照ください)これらの教育システムは、下記の項目を習得するのに有効だと思われませんか。(あてはまるものすべてに 印)

1. 生産現場に近い学習が行える      2. 応用力がつく  
3. 企画・開発・創造力がつく      4. 問題発見・課題解決力がつく  
5. リーダーシップが養われる      6. 責任感が養われる  
7. 協調性が養われる      8. コミュニケーションが養われる  
9. 管理能力が養われる      10. 実習を通じて理論を理解することができる  
11. 効果的に知識と技能・技術を習得できる  
12. 複合的な技能・技術の習得と周辺知識が養える

Q8：応用課程の教育では、全体の8割が実験・実習、2割が学科の構成となっており、“ものづくり”を担う教育を行っております。(別添資料をご参照ください)応用課程の教育で、今後、改善すべき点はどのような点だと思われませんか。(あてはまるものすべてに 印)

1. 基礎的学習(数学、物理等)が不足している  
2. 英語等語学の学習が不足している  
3. 実践技術をもっと取り入れる  
4. 先端技術をもっと取り入れる  
5. 環境に関する教育を取り入れる  
6. “ひとつ”強みとなる技能・技術を習得させる  
7. その他：具体的なカリキュラム(教科目)がありましたら、ご記入ください。  
( )





Q17：最後に、職業能力開発大学校に対する、ご意見・ご要望をお伺いいたします。

大学校の教育に関するご意見・ご要望
その他ご意見・ご要望

調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました

よろしければ、ご回答いただいた方には調査結果の概要をお送りさせていただきますので、下記にご送付先のご記入をお願いいたします。

貴社名			
ご住所			
所属部署名		電話番号	
御記入者名		ご役職	